

つれづれよこはま : 司法書士・福井圭介

先日、とある先輩司法書士の方のお別れ会に参加してきました。その方は、私より合格年度で7年上、年齢ではちょうど20歳上の方でしたが、現役のまま1月に急逝されてしまいました。

葬儀と告別式は親族のみで執り行われ、われわれ同職がきちんとお別れをすることができていなかったため、有志でお別れ会を企画したのです。

当日は、感染対策を施した会場に30名ほどの司法書士が集まりました。私が駆け出しの頃お世話になった先輩司法書士も多数おり、とても懐かしい雰囲気を感じました。

故人はとても笑顔が素敵で、聡明でありながらおちゃめな一面もあり、とても人望がある方で、参加者それぞれがエピソード話を披露し、涙あり笑いもあるとてもほのぼのとした会となりました。

コロナ禍にあって人が集まること自体がなくなってしまい、葬儀への参列もなかなかかなわない状況はとても残念であると感じます。

それでも、工夫をしながらでも集まれる機会というのはとても有意義であると思います。

オンラインによる交流はとても利便性がありコロナ禍以降急速に普及しましたが、どうしてもやりとりは事務的、形式的になりがちであると感じます。

実際に対面で会って通じる感情こそが人間社会の醍醐味ではないかと今回のお別れ会に参加してあらため感じたのでした。

「子供たちの社会性を育むためにも」
と4月号で決意した家族旅行
・コロナ禍後初めて、この夏休みに
実現できました。



日々雑感 : 司法書士・清水敏博

唯一の趣味?!

秋風そよぐ10月はお出かけや何かをはじめするには絶好の季節ですね。

最近、仕事仲間からゴルフやランニング、キャンプやバーベキュー、ツーリングなど趣味を謳歌している話をよく聞きます。

私はと言いますと、思い起こせば何か趣味に没頭ということも、ここ数十年していません。

別に仕事一筋でも仕事以外のことに興味がないわけでもないのですが…気づくと休日も事務所へ（注）けっして家に居たくないわけではありません（笑）

家でも仕事に関する本に目を通したり、ぼんやりと仕事のことを思い耽っていたりしてしまいます。

そんな私がこの20年間、唯一続けているのが、スーツのズボンのアイロンがけです。

これといってファッションにこだわりがあるわけではありませんが、「ビーバップ・ハイスクール」世代としては制服の延長みたいなスーツには愛着があります。アイロンがけは仕事へ切り替えるためのスイッチみたいなもので、たとえ二日酔いで眠くてしかたない朝でも欠かせないルーティンになっています。

使用するアイロンはインターネットではなく店頭で手に取って購入しています。今は蒸気の穴がたくさんあるこだわりの一品。誰もそこまで見てないでしょうが、大勢の人前で話すようなときは自分を鼓舞する意味でラインを少し強くつけたり、新規でのご相談のお客様にリラックスしてお話してほしいときは、ラインを弱くするなど微調整しています。我ながら結構なアイロンテクニックです(o^^o)

と、まあ今日も絶妙なアイロンさばきでパリパリになったズボンに足を通し悦に浸った瞬間・・・
うづう、Σ(°ロ;) 経験したことのない衝撃が走りました。これが世にいうぎっくり腰なのですね。
しばらく腰をかばいながらのスローモーな生活が続きました。トホホ



相続・遺言・贈与・成年後見・老後の生活設計

発行: 司法書士法人あいおい総合事務所
横浜市戸塚区戸塚町157フタバビル203
TEL 045-862-6012 FAX 045-862-6081



ハチの巣に悩まれた夏よ
さようなら。
さいごまでおよみいただき
ありがとうございます。
次号は来年4月ごろです。

